

情報システム・バックアップオフィス研究会 2013年度 第5回 議事録

1. 開催概要

- 開催日 : 2013年9月10日(火) 16:30~18:30
- 開催場所 : 株式会社インターネットイニシアティブ 本社17階会議室 No.4
- 進行役 : 岡(ソフトバンクBB:座長)
- 議事録作成 : 関山(大成建設)
- 出席者数 : 9名(出席者名は末尾参照)
- 資料 : なし

2. 議事内容

●事務局からの報告

(1) 研究会 メンバー数に変更なし

(2) 関連イベント

<実施報告>

- ①BCAO 認定 2013年度 第2回 事業継続初級管理者試験(東京会場)
- ②2013年度 事業継続と両輪の企業防災(個別リスク対策)の講習及び意見交換(3/20)
- ③2013年度 事業継続と両輪の企業防災(個別リスク対策)の講習及び意見交換(2/20)
・参加者:24名(アジェンダに記載された参加人数を修正させていただきます)
- ④2013年度 事業継続と両輪の企業防災(個別リスク対策)の講習及び意見交換(4/20)
- ⑤2013年度 事業継続主任及び准主任管理者 継続教育/専門家レベルアップ教育

<今後の開催予定>

- ⑥2013年度 事業継続と両輪の企業防災(個別リスク対策)の講習及び意見交換
- ⑦8月度 月例会
- ⑧9月度 月例会

(3) 運営会議

◆海外で活躍しているBC専門家を招いた普及セミナーの開催

・講演者:

① スティーブン・メリッシュ 氏

メリッシュリスク&レジリエンス社 社長(BCI 会長)、

セインズベリー(イギリスで最大の小売業者)の元事業継続の責任者

・講演日の予定:11月中旬

・講演会場:東京、名古屋及び大阪の3地区

◆D-PAC プロジェクト 地方開催

- ・南海トラフをテーマにした D-PAC プロジェクト開催を検討中
- ・会場案：名古屋地区および大阪地区

◆事業継続准主任管理者試験の岐阜開催の検討

3. Happy Hour

「BYOD と BCP」というテーマで、SCSK 株式会社 田中様にお話しいただきました。

○東日本大震災でスマホが活躍した

- ・被災状況から、自宅待機の従業員が仕事をする必要があった
- ・メタル電話が輻輳している中、会社の安否確認システムからの連絡は数時間後
：対して携帯電話で通話できた
- ・情報収集で Twitter、Facebook などによる、連絡や情報収集がスムーズで、連絡手段として有効だった

安否確認	・ Twitter、Facebook、mixi を利用した安否確認 ・ Google Person Finder
情報収集	・ Twitter を利用した情報収集
スケジュール共有	・ サイボウズ live、Google カレンダーによるスケジュール確認
連絡手段	・ Gmail による外出先からのメール送受信 ・ Skype からの音声通話 ・ 会社からの連絡用
ナビゲーションツール	・ 自宅までの道案内
翻訳	・ 外国人とのコミュニケーション用に Google が日本語と 50 言語以上の間でテキスト翻訳ができる Android 向け Google Translate を試験的に提供

図1: 震災時のモバイル・クラウド利用例

○従業員にスマホ、タブレットを配布する企業が増えている

- ・スケジュール管理ができる
- ・自分の位置と、行きたい場所へのナビができる
- ・営業マンからの強い要望 など・・・
- ・これからも増えていく予測 (NRI)

○スマートデバイスの企業利用が増える中、BYOD(個人持ち端末の業務利用)を認める企業も出てきている。

- ・データセンターの管理。稼働状況が外部で確認できるなど。

メリット	理由
メールやスケジュールの閲覧が簡単にできる	携帯電話に比べて画面が大きい。パソコンに比べて起動が速い
顧客への説明力が向上する	パソコンなどに比べて、動画などを交えたわかりやすい説明が可能
営業担当者のスキル不足を補える	経験が浅くてもタブレット端末の指示通り説明すればよい
ペーパーレス化で個人情報の漏洩を防止する	書類と違って、セキュリティ対策がなされていれば、紛失・盗難に遭っても漏洩しない
電子化によりデータの入力コストを削減できる	バックオフィスの作業が大幅に減る
市販の端末を使うことでハードウェアコストの削減になる	専用の端末を用いる場合に比べて半額以下になるケースもある

○企業の BYOD 導入に対しては、メリットとデメリットがある

- ・いかに、1つのデバイスで公私を使い分けるかがカギになる
(MAM: Mobile Application Management)
- ・情報漏えい対策と機能の制限のバランス
- ・デバイスからアクセスを受ける企業側としては、その対応は難しい
- ・今のところ、セキュアなモバイルデバイス環境を作ることはできない
(Android, iOS とも)
- ・MDM (Mobile Device Management) のシステムを活用しても防げない

○モバイル端末を業務に使用することで、ライフワークが変わる

- ・「どこでもオフィス」は、どこでも仕事をしなければならない
- ・就業規則の変更になるので、労働基準監督署への届出が必要になる
(BYODに関する規定類のサンプルを、コンピュータソフトウェア協会(CSAJ)で公開

●「業務に必要なツール」として捉えるならば、雇用側の企業が支給すべきという考え方もある

- ・従業員に、BYOD導入についてアンケートしても、制限がかかる等の懸念から否定的

○日常業務でも、発災後においても、有効なツールには違いない

4. 討議内容：「バックアップオフィスについて」

○7月の研究会の討議した結果を、整理した

- ・用語として「バックアップオペレーション」とする

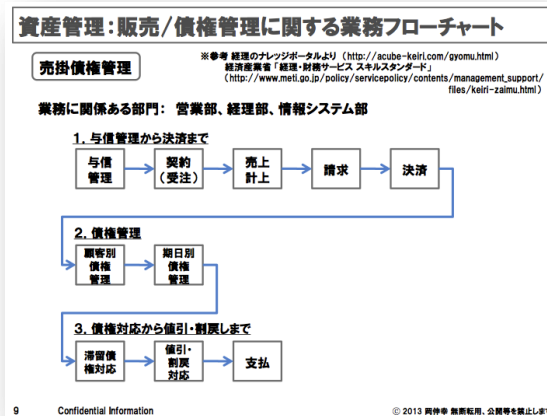
：事業を継続するという事は、「場所を継続させる」ことだけではなく、「業務の継続」という捉え方

○検討する重要業務として、以下を採用。特に①についての業務フロー案を岡氏が作成した

- ・入出金（財務、経理、会計、購買）業務
- ・災害対策本部（経営企画、総務）業務

<作成した業務フローチャート>

- ① 売掛・買掛債権管理
- ② 在庫管理
- ③ 固定資産管理
- ④ 現金出納・借入金管理
- ⑤ 決算管理（単体・連結）



○10月以降のタスク

- ・検討した業務フローを精査しつつ、バックアップオペレーションに必要な要件整理
- ・まとめのイメージの検討と共有

5. 次回（2013年度 第6回）ITBO研究会の日程

●日時：10月8日（火） 16：30～18：30

●場所：BCAO 東京オフィス

●2013年度の開催予定日

	開催日		時間	場所
1	2013年	4月9日(火)	16:00～18:00	富士通エフサス様
2		5月14日(火)	16:30～18:30	BCAO 東京オフィス
3		6月11日(火)	16:30～18:30	BCAO 東京オフィス
4		7月9日(火)	16:30～18:30	BCAO 東京オフィス

		8月6日(火)	開催なし	
5		9月10日(火)	16:30~18:30	IIJ 様本社ビル
6		10月8日(火)	16:30~18:30	BCAO 東京オフィス
7		11月12日(火)	16:30~18:30	BCAO 東京オフィス
8		12月10日(火)	16:30~18:30	BCAO 東京オフィス
9	2014年	1月15日(火)	16:30~18:30	BCAO 東京オフィス
10		2月13日(水)	16:30~18:30	BCAO 東京オフィス
11		3月11日(火)	16:30~18:30	BCAO 東京オフィス

6. 出席者一覧

No,	氏名	会社名
1	岡 伸幸	ソフトバンク BB 株式会社
2	関山 雄介	大成建設株式会社
3	山口孝一	株式会社インターネットイニシアティブ
4	伊藤 高信	FUN, Inc
5	加藤 誠	株式会社日立コンサルティング
6	近藤 隆一	株式会社富士通エフサス
7	田中 弘明	SCSK 株式会社
8	羽石 将士	日立製作所 (日立システムズ)
9	森田 良一	株式会社イトーキ

以上